

2016 年度

# こどもニュース

あそびの様子

特集号 !!

No. 8

9/28 発行

金城学院幼稚園

朝晩はいつの間にかひんやりした空気に包まれるようになりました。心地よさと同時に、夏の疲れや気候の変化に体調を崩しやすい季節です。睡眠と運動、秋の味覚をたっぷりいただき元気で過ごしましょう。

さて、9月17日父母の会バザーの開催を心から感謝いたします。多彩なアイデアをもって今年ならではの企画はとても素晴らしかったです。本当にお疲れ様でした。

前日の準備には多くの力が結集し、バザー委員さんから会員の皆様のご協力の素晴らしさをお聞きしました。支える会の方々は、泣き叫ぶお子さんにもめげずに一生懸命託児をしてくださり助けられたこともお聞きしました。

例年より一カ月以上も早い開催のため、飲み物食べ物に関しては細心の注意を払っていただき、さぞ大変であったことでしょう。

大盛況のバザーを終え、みんなが「楽しかったね。」「また来たいね。」と交わしながら帰って行かれました。この園の幸せをまた一つ感じさせていただきました。

最後に帰って行かれたバザー委員さんにお声をかけた時、「大学祭のように楽しかった。」と言ってくださり、ふーと私の心も晴れました。どんなにか心配や不安、責任の重さも抱えて臨まれたことと察します。しかし、大学祭も訪れるお客さんより、企画し準備に走り回った人は何倍もの喜びと達成感に満たされるに違いありません。

バザー委員さんをはじめ役員さん・他の委員さん、会員の皆さま、時間と労力を捧げご奉仕くださいました姿は貴く、子ども達の瞳にも焼き付いています。

讚美歌を歌う会の合唱、ピアノとバイオリンの二重奏、園芸の会の協力をいただいたお花屋さん、遊戯室の在園児、卒園生ブースも恒例となりつつあり、嬉しい限りです。ママポنزの上映もバザー名物となっています。

このように、父母の会、幼稚園、卒園生、支える会が一つとなりご奉仕できる事はすごい事だと思います。誰よりも神様が喜びほめてくださることと思います。

皆さまお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

《馬淵宣子》

突然ですが、クイズです！

ある時は迷路の道となり、  
またある時はゴージャスなお城になり、  
またある時はカッコいいスポーツカーにもなる……。  
そんな子どもたちが大好きなおもちゃとは、一体な〜んだ？？

夏休みが明けて二学期になり、幼稚園のおもちゃの一つが新しくなりました。そのおもちゃが、先程のクイズの答え！

## ソフトブロック(スポンジ製の積木)です！！

このソフトブロックは、子どもたちに大人気♡ 昨年父母の会で購入いただいたソフトブロックははと組に、今回買った新しいソフトブロックのセットはほし組とゆり組に、そして今まであった古いソフトブロックはひつじ組とぶどう組に置いてあります。

これまでよりも数が多くなったために、二学期に入ってからソフトブロックの遊びは一学期よりも大きく、ダイナミックになっています。

たとえば……、

“子ども部屋”と称して敷居を作り、中にはベッドも。  
そして、そこでおままごとが始まったり



□□えき〜  
□□えき〜

電車の運転席に見立てて、そこに乗り込めば……  
「出発進行！」と、電車が発車したり

「天井まで届くかな？」と、  
椅子の上に乗って皆で協力しながら  
高く積み上げてみたり



こんなふうに、ソフトブロックを使っての遊び方は無限大！  
これからも子どもたちがどんなふうに遊んでいくか、ワクワクします！

(ゆか)



# ものづくり いろいろ



「ふくる ちょうだい。これ入れるの」「出してきたら良いよ」「わかった！」日常、よくある子ども達との会話です。子ども達にとって、自分の作った作品を持ち帰るために丁度良いサイズの紙袋を探すのも楽しみの一つになっています。袋の中に入る物は折り紙で作った物であったり、空き箱やカップ、トイレットペーパーや割り箸、ストローを組み合わせで作った物であったり、モールやリボンで作った物もあります。それは子ども達が、個々にイメージした物をあれこれ試行錯誤して作った物ばかりです。

先日、年少児が35cmサイズの段ボールに小さな箱を貼り、更にその上に某アイスの中敷を貼りそこに折り紙を丸めた物を並べ、見せに来てくれました。一言「たこ焼き作るやつ」と言うので床に置いて片手に持っていた割り箸で丸めた折り紙をくるくると回して見せてくれました。その仕草を見て、(なるほど)と感心しました。細部はまだまだ粗雑な作りでしたが、素材からの発想に驚きました。

子ども達の頭の中には大人の私たちでは想像できないようなアイデアが詰まっています。ですから時折(何?それ)と思ってしまったり、「こうしたらどう?」と提案したことが全く見当違いだったりします。以前、リボンを髪に直接セロハンテープで貼っていた子に厚紙の帯状のものを見せ、これに貼ってから頭に被ってはと提案したことがありました。その子は頭をかしげ、何か考えています。その後すぐに頭をかしげた理由がイメージと違っていたからだと分かりました。そうしたことがある度に子どもの声をもっと聴かなくてはと反省します。

子ども達は体験したことを自分の世界で再現しようとしています。そこには楽しかったという思い出としてだけでなく、憧れも表現されています。身近なものを使って、どう近づけるか駆使した様子を子ども達の作品から読み取って欲しいと思います。



子ども達の好きなおもちゃの中にブロックは欠かせません。5クラスを回り、使いたいブロック探しをする遊び慣れた子ども達もいます。時間をかけ作った作品は凝ったものばかりです。数個を繋げて「これ剣だよ」と言っていた子が周りの子ども達が作るものを見たり、教えてもらったりしていつの間にか凝ったものを作り「ロケットなんだ。これに乗って宇宙に行くよ」と話してくれたこともありました。一人遊びのように見えるブロック遊びも十分に関わりのある集団遊びになっています。また出来上がったものは想像以上に思い入れがあり、数日間遊んでは作り直したり、作り足したりします。片付け時には子ども達と決めた置き場所に大切に飾っています。

子ども達の姿を見ていると、匠の技が生きる伝統の・・・というTV番組などに出てくる匠のようです。同じ素材を使っているのに同じ作品がないというのも同じです。ものづくりは奥が深いということをこうした子ども時代に知って行くのかもしれない。

( まさえ ● )



## むしとり



夏休みに入る前から子ども達は虫捕りを楽しんでいました。年長児のキャンプでもセミ捕りやカブトムシの仕掛け作り等経験しましたし、夏休みの間カブトムシを飼っていたご家庭も多いのではないのでしょうか？

子ども達にとって虫捕りはどのような魅力があるのでしょうか？まず“見つける”「こんちゅうジャングル」の木の上や草の中から隠れている虫を見つけ出す面白さ！！その虫が珍しい虫ほど喜びは倍増するようです。ほらあそこ！



そして“捕まえる”逃げられたり、飛んでいかれたりしたら残念。静かにすばやく捕まえます！！虫の種類によっては勇気も必要です！

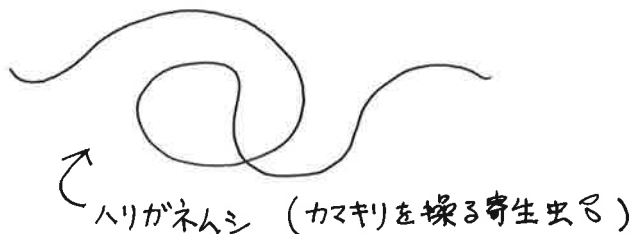


“飼う”ことも、虫の生態を知る上で大切なことです。自分が捕まえた虫には愛着も湧き、とても大事に思うようです。

その後、飼い続けることで虫の成長や死を経験することもあるでしょう。飼うことは難しいから元気な内に“逃がそう”と判断するかもしれません。どちらにせよ、虫たちは子ども達に命と自然を教えてくれる先生なのです。

先日、捕まえたカマキリのお腹からハリガネムシが出てきたと大興奮だった子ども達。“生き物の不思議さ”を教えてくれる昆虫達への飽くなき探求はまだまだ続きそうです。

(まお)



ハリガネムシ (カマキリを操る寄生虫)